



第409号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



どん底の悲しみ

かたかつた梅の蕾もようやく綻び始めました。立春とはいえまだまだ厳しい寒さが続きますが、皆様お元気でしようか。

昨年暮れの12月30日午前6時に、妻の博子坊守(64)が膵臓癌で御浄土に還っていきました。7月12日に病院で診断され、わずか半年の闘病生活で、家族にとっては信じられない気持ちでいっぱいです。寂しい正月を過ごし、心光寺本堂で1月3日通夜式、4日に葬儀式と大勢の会葬者に見送られながら、別れを告げました。生前はひとかたならぬご厚情を賜り、故人に代わってお礼申し上げます。

今年の元旦は初日の出もさわやかに穏やかな晴天でした。愚僧の心の中は寂しすぎて真つ暗闇でしたが、夕方に訪ねてきた親戚の者が石川県能登地方で午後4時10分に震度7の大地震があり、地震による家屋の倒壊や津波・火災で多くの人が死亡、行方不明になっているというテレビ報道を知らせてくれ、余計に悲しくなりました。

能登半島の珠洲市では数年前から群発地震が活性化し、2022年6月には震度6弱、2023年5月には震度6強に襲われ、家屋が相当地に傷んでいたのに、追い打ちをかけるような大地震で、ビルの倒壊など大きな被害が出ています。1月18日現在、死者232名、住宅被



カット：本多紘子

害は2万1411棟で、道路が陥没したりひび割れて陸上支援がまま成らず、海上からの支援も海岸が隆起して船も寄せ付けず、被災地の支援・復旧作業が遅れています。

予震が続く中で、家には居られなくて自動車の中やビニールハウスで過ごす方は、暖房や食料や水などの基本の生活物質が足りないだけでなく、雨や雪の寒さに震えています。それがいつまで続くかも知れないという不安な被災者達に何もしてあげられない愚僧は、悲しみを共に悲しみながら、必ず立ち上がって欲しいと念じるばかりです。

文政11年(1828)、禅僧の良寛和尚71歳の秋、11月12日、新潟県三条市を中心に大地震が越後を襲いました。死者1600人、負傷者1400人をだす大惨事。このとき良寛さんは被害を受けなかったが、友人の山田杜阜への見舞い状が有名です。「地震は信に大変に候。野僧、草庵は何事もなく、親類中死人もなくめでたく存じ候。うちつけに、死なば死なずて、永らえて、かかる憂きめを見るがわびしさ。しかし災難に逢う時節には災難に逢うがよく候。死ぬる時節には死ぬがよく候。是はこれ災難をのがる妙法にて候。かしこ」と書かれ、災難さえありのままに受け入れ、身をまかそうと言うのです。災難と一体になってしまえば、災難に苦しむ「われ」はない。天真に任すというが、天真はいつも青空で晴れているわけではない。それでもいい。「死ぬ時節には死ぬがよく候」と天命に任せているのだ。

人生は悲しいことばかりではない。嬉しいことも楽しいこともいっぱいあるよ。1月8日、東京体育館で行われた全日本高校女子バレーの決勝戦で、岡山県の就実高校が東京の下北沢成徳高校を3-0で破り、2大会ぶり5度目の優勝に輝きました。3連覇が懸かった前回大会は、試合前の新型コロナウイルス検査で一部選手に陽性が疑われ、欠場に追い込まれました。その雪辱を期した今大会でしたが、守備に力をそそぎ落ち着いたプレーは見事でした。昨年のどん底の悲しみから喜びを爆発させられ、おめでとうございます。合掌(奥原曇龍)

『どん底の悲しみからも立ち上がる 力と勇気仏教に学ぼう』 どんりゅう

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

日時・二月 六日「火曜日」午後一時半から四時まで。

「歎異抄(たんにしょう)に学ぶ」

場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方

心光寺 倉敷 検索



カット：府川綾

ともしび説法



お釈迦様ものがたり

ジャイナ教徒であったアバヤ王子は、お釈迦様に対して「あなたの従兄弟であるダイバダッタは、あなたに対して邪悪なことをして非業の最期を遂げましたが、あなたはダイバダッタは地獄に脱して一劫の間そこに住するであろう」と言われたのは、「如来にふさわしい言葉ではないでしょう」と問います。

お釈迦様は、自分の幼児を膝に抱いているアバヤ王子に対して、「もし何らかの不注意のために、その幼児が誤って木片か小石を口に入れたならば、どうするか」。王子は「簡単にとれなければ指を口の奥に突っ込んで、たとい血が出るようなことがあっても取り出します。それが親の慈悲ですから」と答えました。お釈迦様は、「如来もその通り真実と慈悲のためにきつい言葉ともなる」と諭すと、王子は深く感動します。合掌 (奥原曇龍)

博子坊守のご会葬有り難うございました

心光寺坊守の博子が、令和5年12月30日に満64歳で御浄土に還っていきましました。

令和6年1月3日午後5時より通夜

4日午前10時50分より葬儀

心光寺の本堂で厳粛に営みました。ご会葬下さった皆様には厚くお礼申し上げます。

博子坊守のお別れ会のお知らせ

令和6年2月17日(土) 心光寺本堂にて午後12時よりみんなで正信偈を誦誦し、住職と総代さんの挨拶とお別れの言葉。

午後1時よりお弁当を食べながら2時まで博子坊守のことを皆様と語りあいたいです。

参加費 弁当代を含んで5千円。2月8日迄に参加希望の方はお寺までご連絡下さい。

電話 086-427-9791

節分や博子坊守もういない いつも明るく元気くれた人 田辺多恵子



1月1日 元旦にお参り下さった方々と

ともしび法話

2月は節分。寒さも和らぎ皆様お元気で過ごして下さい。母の博子坊守が昨年12月30日に御浄土に還り、大変寂しくなりました。お寺での葬儀も無事に終わりました。母を偲ぶお別れ会を開くことになりました。寒い時ですが、気軽に御参加下さい。

心光寺新坊守(ぼうもり) 府川 綾

博子坊守に感謝の言葉

坊守はお寺を支え、住職を支え、また、常日頃、笑顔で私たちに接して下さいました。その笑顔が忘れられません。本当に有り難うございました。南無阿弥陀仏。

西阿知町 松下 智海

今年の年賀状はどんな家族写真かなと楽しみに待っていたら悲しい辛いお知らせでした。博子さんのあの笑顔、笑い声にもうお会いできないなんて...

岡山市法界院 国塩 修子

元旦に能登半島を中心に震度7の大地震があり、地震と津波で大災害となり、被災者の皆様に忠心よりお見舞い申し上げます

倉敷市藤戸町 縄田 君子

ともしび説法

日時・二月 六日「火曜日」 午後一時半から四時まで。 「歎異抄(たんにしよう)に学ぶ」

場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて 電話・(086)420-1311 駐車場有り

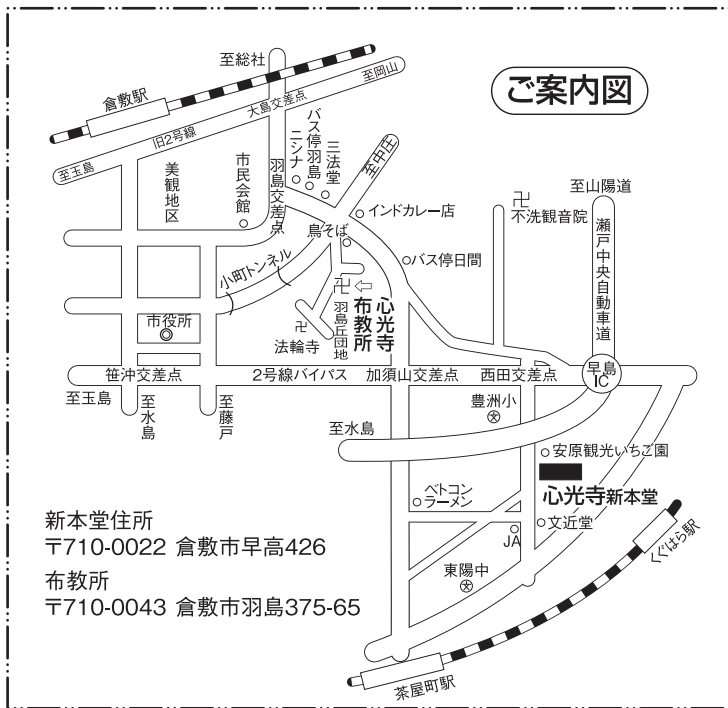
(宗派をとわず、まじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

○ともしび説法・お寺の行事予定

三月 六日(水)・午後一時半から四時まで・早高の本堂。 四月二十一日(日)・午後一時から四時頃まで・早高の本堂。

「春の永代経法要」 法要と儀式 仏教講演

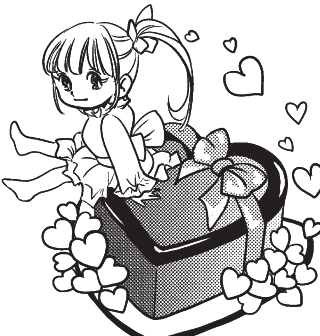
☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)



◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございます。

- 倉敷市 平松様 早島町 仁熊様 4千円
- 倉敷市 山形田鶴子様 荒木昭義様 5千円
- 倉敷市 佐野十三男様 藤原力様 石田健二様 川畑喜恵子様 1万円
- 岡山市 藤井玲子様 玉野市 川西幾子様 1万円 倉敷市 宮本奈穂子様 切手8千4百円

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしょうにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらいより、自分でお寺は決めよう。



カット:吉岡美枝

しんこうの詩

節分がやってきた
 かたかつた梅の蕾もほころび
 春の息吹を感じる昨今
 受験生にとっては人生の
 大一番を控え神経もピリピリ
 何をして どう生きるのか
 自分さがしのための受験だよ

